

衆議院島根県第1区補欠選挙取り組みのまとめ（案）

2023年11月に前衆議院議員議長細田博之氏が逝去されたことを受けて2024年4月16日告示・28日投開票の日程で補欠選挙が執行された。連合島根にとって補欠選挙の戦いは初めてのことであり、政党と政党の戦いとなることは想定していたが、立憲民主党の資源や力の集中化が行われる総力戦が展開されることとなった。全国3選挙区での補欠選挙であったが、与野党が一騎打ちする象徴的な選挙区となったため全国からの注目を集める選挙区となった。結果、亀井亜紀子氏については大差で自民党候補を退け自民党が長年にわたり守ってきた選挙区の議席を勝ち取ることが出来た。

《選挙結果》

当日有権者数	261,190人（前回比▲7,147人）
投票者数	142,673人（前回比▲21,623人）
投票率	54.62%（前回比▲6.60%）

亀井亜紀子	得票数	82,691票	得票率	58.82%	当選
錦織 功政	得票数	57,897票	得票率	41.18%	次点

1. 経過

【立憲民主党】

- ・島根県連として第50回衆議院議員選挙の予定候補者であった亀井亜紀子氏について、12月23日第5回県連幹事会で補欠選挙候補者としての確認をし、党本部への公認申請をされた。
- ・1月11日立候補表明の記者会見実施
- ・1月12日連合島根に対して推薦要請

【連合島根】

- ・2024年1月18日開催の連合島根第68回地方委員会にて議案として取り扱い亀井亜紀子氏の推薦決定を行った。
- ・連合本部に対し、推薦申請し連合推薦を確認した。
民主ネットワーク会議(連合島根・立憲民主党県連・国民民主党県連)を通じた相互意見調整と合意形成に努め、執行委員会での意見を踏まえて連合島根推薦を決定した。

2. 補欠選挙への対応

地方委員会で確認した方針に則り具体選挙戦への対応を行った。候補者の「青空

集会」「茶話会」に加え党本部の支援を受けて実施した「事業所アンケート」などの活動を展開した。

2月3日には、連合島根・国民民主党県連・亀栄会とともに総合選挙対策委員会を設置（連合島根から委員長代行に成相会長、副委員長に須田副会長、副事務局長に景山事務局長を派遣）。併せて時局講演会を開催した。党本部からは岡田幹事長が来県し、国政報告を含めて講演。補欠選挙勝利に向けた機運醸成をはかることができた。また、3月3日には「県連定期総会」並びに「2024 躍進のつどい」を開催。党本部からは泉代表が来県し、補選に向けた決起の場にもなった。

連合島根は一連の活動に参画するとともに、補欠選挙の告知と意義について訴える街宣行動（テープ街宣）や立憲民主党県連事務所前での朝立ち行動等に取り組んだ。

補欠選挙は、候補者同士の戦いに止まらず「党対党の総力戦」という構図による選挙戦であった。そのため、告示までの政治活動と準備作業は、私たちがこれまで経験したことがない事態や対応の連続であった。

その一つは、党本部からの精力的な支援である。泉代表はもとより、代表代行、副代表、幹事長、選対委員長、政調会長ほか党幹部が続々と来県し、予定候補者の政治活動を全面的に支えていただいた。また、3月中旬からは党本部職員の皆さんも多数県連事務所に常駐して様々な業務を担っていただくとともに、補選未経験の私たちへの支援と指導に尽力いただいた。加えて、党本部女性議員ネットワーク、中国ブロック各県連、徳島県連、愛媛県連などからは、地方議員や県連スタッフにも支援に駆けつけていただいた。なお、告示日前日までに全国各地から来県し様々な政治活動にご協力並びにご支援いただいた国会議員は延べ80名を超えた。加えて連合本部政治センターからも1名の専従派遣を得て、活動の充実を図った。

【主な経過】

- 2月 3日 第1回総合選挙対策委員会
立憲民主党幹事長 岡田克也 衆議院議員来県
- 2月14日 第1回企画会議
- 16日 立憲民主党企業・団体交流委員長 大島敦 衆議院議員来県
- 21日 立憲民主党選挙対策委員長 大串博志 衆議院議員来県
- 2月29日 第2回企画会議
- 3月 3日 立憲民主党代表 泉 健太 衆議院議員来県（県連定期総会）
- 12日 県選管主催 立候補予定者説明会
- 15日 第3回企画会議
- 16日 事務所開き（亀井亜紀子松江事務所・総合選対事務所）
立憲民主党政務調査会長 長妻昭 衆議院議員来県
第2回総合選挙対策委員会
- 21日 立憲民主党幹事長 岡田克也 衆議院議員来県
早朝チラシ配布（JR 松江駅 岡田幹事長）

- 雲南タウンミーティング（岡田幹事長）
- 26日 第4回企画会議
- 30日～31日 隠岐郡内活動（枝野幸男 衆議院議員）
- 4月 3日 第5回企画会議
- 6日 「島根から変えよう県民集会」
（泉・村田参議院議員・湯原衆議院議員、国民民主党県連：岩田幹事長）
立憲民主党代表 泉 健太 衆議院議員来県
村田享子 参議院議員来県
- 7日 雲州平田駅前街頭演説会（泉代表、国民民主党県連：岩田幹事長）
- 12日 第6回企画会議
- 13日 立憲民主党幹事長 岡田克也 衆議院議員来県（宣伝車街宣ほか）
- 14日 ジェンダー平等集会（安来 松江 街頭活動3か所）
立憲民主党代表代行 西村智奈美 衆議院議員来県（集会・街宣）
《集会・街宣参加議員》
岡本あき子衆議院議員、桜井周衆議院議員
岸 真紀子参議院議員、宮口治子参議院議員
- 21日 連合芳野友子会長街頭演説会（安来市・松江市・雲南市）

3. まとめ

「補欠選挙」を経験したことがない我々にとって異例の選挙戦であったことに加えて、相手候補である自民党にとっては強烈な逆風が吹き荒れるという極めて特殊な環境下での取り組みであった。「自民党大国」と言われ続けてきた島根で、初めて野党候補が小選挙区を勝ち抜き、しかも圧勝するというまさに歴史的な勝利を挙げることが出来た。ご支援とご協力をいただいた全ての組合員のご努力・ご尽力に敬意を表し感謝する。

連合島根は選挙戦準備の段階から職場における紹介活動や政党が行う各種の集会等に積極的に参加し、選挙戦を盛り上げるとともに組織強化に取り組んだ。選対役員への派遣や新たに設置された企画委員会にも参画し、情勢を踏まえた活動の在り方や戦術について積極的に関与した。旧1区での選挙であったが、平田・雲南・松江・隠岐・安来の各地区選対の設置や運営についても東部地協・中部地協を中心に奮闘頂いた。また、事前の「テープ街宣」及び「投票に行こう」流し街宣では青年委員会・女性委員会役員にも協力を得た。選挙戦にあたっては立憲民主党、国民民主党、後援会、連合島根で総合選対を結成し、具体的な取り組みを進めてきた。連合島根は亀井亜紀子推薦決定の後、連合本部の推薦確認を得た。これまで連合本部からの推薦決定以降、構成組織本部と地方組織、連合における十分な調整や論議を行うことが出来ず、産別組織の推薦を頂けないケースも多くあったが、自動車総連からの産別推薦を得たり、連合島根及び選対からの様々な要請に対して積極的に対応を頂くなど、連合島根の選挙活動にとって総力を結集する協力体制を構築する

ことが出来た。連合島根推薦の下、各構成組織が出来うる最大限の取り組みを頂いたものと総括する。

政治活動・選挙活動において、立憲民主党県連や後援会、亀井亜紀子事務所の機動力については、脆弱な面も持ち合わせている。それぞれの機能強化については連合島根としての要請もしつつ今後の活動を見守っていくこととしたい。